



講談社の絵本がこんなに…(4歳のころ)

特別展 小手鞠るい 一本の世界

～ただそこにその形があるだけで、本は私たちを幸せにしてくれる～

岡山県備前市出身の作家 小手鞠るいが、「職業として成り立つような物書きになりたい」と小説の執筆に本腰を入れて今年で40年。幼少期に祖母に読み聞かせてもらった名作絵本にはじまり、両親からふんだんに買い与えてもらった本、中学生の時は、図書室の本を全て読破する「筋金入りの本の虫」だったと振り返る。今や、アメリカニューヨーク州ウッドストックの森の中より常に故郷岡山に想いを寄せながら、精力的に執筆活動が続け「本」を届ける。本特別展では、著作本や原稿資料、愛用品とともに、小手鞠るいの本の世界へご案内します。



小手鞠るい 略歴



- 1956年 岡山県備前市浦伊部に生まれる。
- 1968年 岡山市一宮へ引っ越し、中山中学校へ入学。図書館へ入り浸る。
- 1974年 岡山朝日高等学校を経て同志社大学法学部法律学科へ入学。
- 1978年 大学卒業後、美術系出版社で働きながら「詩とメルヘン」へ投稿。
- 1980年 詩集『空はなにいろ』を自費出版。
- 1981年 サンリオ「詩とメルヘン賞」受賞。やなせたかしと出会う。
- 1985年 アルバイト先の書店で、のちに夫となるアメリカ人男性と知り合う。
- 1987年 雑誌のフリーライターとなる。
岡山県出身の詩人、飯島耕一主催の「サッフォの会」へ参加。
- 1992年 一緒に暮らしていた恋人と結婚、渡米する。
動物保護センターから猫のプリンを引き取り養子にする。
- 1993年 「おとぎ話」で海燕新人文学賞受賞。
- 1995年 第一作品集『玉手箱』刊行。
- 2005年 『欲しいのは、あなただけ』で第十二回島清恋愛文学賞受賞。
- 2006年 『エンキョリレンアイ』がベストセラーとなる。
- 2009年 絵本『ルウとリンデン 旅とおるすばん』でボローニャ国際児童図書賞受賞。
- 2012年 岡山を舞台にした『望月青果店』が話題となりラジオドラマ化される。
- 2015年 やなせたかし氏への追悼作として『優しいライオン やなせたかし先生からの贈り物』、『テルアビブの犬』出版。
- 2017年 『アップルソング』がNHKラジオ第一放送でドラマ化される。
- 2019年 『ある晴れた夏の朝』が第六十五回青少年読書感想文コンクール課題図書に選出される。同作は、日本子どもの本研究会第三回作品賞および第六十八回小学館児童出版文化賞を受賞。
- 2021年 『ぼくたちの緑の星』が第三十七回うつつのみやこども賞を受賞。
- 2022年 『サステナブル・ビーチ』が福井市こどもの本大賞物語部門受賞。
母親との思い出を題材とした絵本『うちのおかあちゃん』、エッセイ『お母ちゃんの鬼退治』出版。
- 2023年 『ラストは初めから決まっていた』、『未来地図』の舞台となった奈良県王寺町より「王寺町国際親善大使&王寺町立図書館名誉館長」に任命される。
戦争の記憶を伝えるため、父 川滝喜正氏のスケッチを挿絵に『川滝少年のスケッチブック』を出版。



『空はなにいろ』
(正栄堂／1980年)



『玉手箱』
(ベネッセコーポレーション／1995年)



『欲しいのは、あなただけ』
(新潮社／2004年)



『ルウとリンデン 旅とおるすばん』
(講談社／2008年)



『優しいライオン
やなせたかし先生からの贈り物』
(講談社／2015年)



『テルアビブの犬』
(文藝春秋／2015年)



『お母ちゃんの鬼退治』
(偕成社／2022年)



『未来地図』
(原書房／2023年)



『川滝少年のスケッチブック』
(講談社／2023年)

北泉庭のご案内



吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春夏秋冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。

(交通のご案内) JRでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

バスでお越しの方：岡電バス(妙善寺・三野公園)行、または宇野バス(美作方面)行で「南方交番前」下車徒歩3分

お車でお越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。

秋の庭

